

レース名	日付	クラス	場所	コース	展開	想定馬場	ポイント
T C K女王盃	2019/1/23	JpnIII	大井	1800m	ミドルペース	良	展開、コース実績

枠	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	父	父系統	母父	母父系統	能力	騎手	適性	展開	総合評価	期待値	印	結果
1	1	ビスカリア	牝7	55	森	ヴァーミリアン	ミスプロ系	Gilded Time	ダマスカス系	B	A	C	B	B	B	△1	
2	2	マルカンセンサー	牝4	54	的場文	ロージズインメイ	ハイロー系	ブラックタイアフェアー	ミスプロ系	D	C	D	C	D	D		
3	3	エイシンセラード	牝4	54	福永	カネヒキリ	サンデー系	ファルブラヴ	ノーザン系	B	B	B	B	B	B	△2	
4	4	ワンミリオンス	牝6	56	北村友	ゴールドアリュール	サンデー系	Yankee Victor	ハイロー系	C	B	B	B	B	B	×1	
	5	ガーデンズキュー	牝7	54	笹川	ワイルドドラッシュ	アイスカベイド系	サンデーサイレンス	サンデー系	D	B	D	D	D	D		
5	6	ラビットラン	牝5	56	Mデムーロ	Tapit	ナスルーラ系	Dixieland Band	ノーザン系	A	A	B	B	A	B	▲	
	7	スプリングキャロル	牝6	54	吉井	クロフネ	ノーザン系	ステイゴールド	サンデー系	D	C	D	D	D	D		
6	8	クレイジーアクセル	牝4	55	御神本	ロージズインメイ	ハイロー系	サクラバクシンオー	ナスルーラ系	D	A	D	C	C	C		
	9	ジュエルクイーン	牝7	55	岡部	キンシャサノキセキ	サンデー系	クロフネ	ノーザン系	D	B	B	B	C	B	×2	
7	10	ブランシェケール	牝6	55	吉原	ダイワメジャー	サンデー系	クロフネ	ノーザン系	C	A	A	B	B	A	○	
	11	アルティマウェボン	牝6	54	真島	ヨハネスブルグ	ノーザン系	アグネスタキオン	サンデー系	C	B	A	B	B	A	◎	
8	12	ラモントルドール	牝5	54	加藤聡	ゴールドアリュール	サンデー系	ブライアンズタイム	ロベルト系	D	B	D	D	D	D		
	13	アイアンテラー	牝5	55	浜中	ゴールドアリュール	サンデー系	ティンバーカントリー	ミスプロ系	B	C	C	C	B	C	△3	

隊列図	見解	ラップタイム
クレイ アイア ラビッ エイシ ブラン ワンミ アルテ マルカ ジュエ ビスカ ラモン ガーデ スプリ	大井1800mの牝馬限定のダートグレードといえば、とにかく波乱が続いている条件。直近3レースの3連複はすべて万馬券。3連単は2レースで100万超の特大大馬券が飛び出している。この路線は長らく主役馬不在の状況だが、それでもそれなりに信頼度があったホワイトフーガ、クイーンマンボがピークを過ぎて引退したことにより、混戦により拍車がかかった。アルティマウェボン（18年T C K女王盃3着）、オルキスリアン（18年クイーン賞3着）でも好走できてしまうのが現状。過去の実績はアテにならないだろう。今年のT C K女王盃は、ラビットランがやや抜けた人気を集めそうだが、2番人気以下はかなりの混戦ムード。今年のT C K女王盃もひと波乱あるのではないか。それでは予想にいきましょう。  本命は充実一途の <b>アルティマウェボン</b> を狙う。J R Aでは1000万下でアタマ打ちだったが、地方移籍が成功した典型的な例で、直近のダートグレードでのパフォーマンスは間違いなく本物。（以下省略）	回顧        次走狙い馬
ミドルペース		

枠	馬番	馬名	印	評価	結果	回顧
1	1	ビスカリア	△1	1600万下在籍で、しかも牡馬とバリバリに戦ってきた戦歴。能力面に関しては何も不安はない。問題は、地方ダートへの適性と輸送。この実績で1枠1番&森騎手なら玄人売れ必至かも。		
2	2	マルカンセンサー		前走C1で4着。ロジータ記念の敗戦を見ても、ダートグレードで戦える力はない。		
3	3	エイシンセラード	△2	未勝利→500万下→1000万下と3連勝中。「JRA1600万下在籍」に当て嵌まるので、牝馬限定のダートグレードなら十分に通用するレベルだろう。現4歳世代はご存知の通りハイレベル。JRA出走馬の中で4歳は本馬のみで、人気を集めそうだが、安易に嫌わない方がいいだろう。		
4	4	ワンミリオンズ	×1	正直、ピークをやや過ぎた印象。近走は言い訳の利く敗戦もあるが、現実的に17年エンプレス杯勝ち以降、【0.0.0.8】と掲示板までが精いっぱい。実績のあるコースとはいえ、ここでガラリ変するイメージが湧かない。		
	5	ガーデンズキュー		前走東京シンデレラマイルでは7着に敗退。今回は相手がさらに強くなるので、上位争いに加わるのは難しい。		
5	6	ラビットラン	▲	ブリーダーズゴールドカップでは、プリンシアコメータ、クイーンマンボを全く寄せ付けず、JBCレディスクラシックでは正攻法の競馬で2着に好走。直近2走のパフォーマンスを見る限り、牝馬限定のダートグレード路線ではやや抜けた存在と見ていい。		
	7	スプリングキャロル		前走東京シンデレラマイルでは16番人気ながら6着と健闘したが、最後方から進め、レースに参加せずの結果。字面通りに評価できない。苦戦必至だろう。		
6	8	クレイジーアクセル		関東オークスで完敗だったハービンマオはその後、ブリーダーズゴールドカップ5着、クイーン賞4着と古馬に混じってもうワンパンチ足りず。さすがにダートグレードでは能力不足なのでは。展開も厳しくなりそう。		
	9	ジュエルクイーン	×2	前走東京シンデレラマイルが不甲斐ない敗戦も、3走前のレディスプレリュードでは4着アンジュデジールから0.1秒差の6着。上位勢と大きな差があったわけではなく、展開が向き、JRA勢の凡走があれば、3着なら可能性はあるかもしれない。		
7	10	ブランシェクール	○	500キロを超える大型馬でドカドカと走るタイプなので、ポテンシャルがより問われやすい大井の外回りコースが合っているのだろう。その意味で前走クイーン賞は立ち回り重視の船橋1800mなのでノーカウントの一戦。大井1800mに戻れば、巻き返してくるだろう。		
	11	アルティマウエボン	◎	JRAでは1000万下でアタマ打ちだったが、地方移籍が成功した典型的な例で、直近のダートグレードでのパフォーマンスは間違いなく本物。今回はレディスプレリュード3着と同じ舞台、同じ騎手。逃げるアイアンテラーを番手のラビットランが早めに追いかければ、理想的な展開にもなりそう。		
8	12	ラモントルドール		2走前のクイーン賞では勝ち馬アイアンテラーから3.3秒差の8着。ここは参加するだけだろう。		
	13	アイアンテラー	△3	船橋1800m→大井1800mのコース替わり、同型クレイジーアクセルの存在（しかも大外枠）、直後に断然人気のラビットランがマークと不安材料が揃っている。【6.1.0.9】の戦績が示す通り、ピンカパーカのタイプ。ここは嫌う番だろう。		